

てをつなGo

2019.Autumn vol.122

CONTENTS

今号はナツボラ大特集!
ナツボラ完走!!
U-30特別編 ナツボラ記者が行く
ナツボラとは?

てをつなGo

発行・編集：高知県ボランティア・NPOセンター
Tel 088-850-9100 Fax 088-844-8882 E-mail: kvnc@pipikochi.or.jp



ご存知ですか? ナツボラ!

ナツボラって?

2014年から始めて今年で6年目!
夏休み期間中のボランティア体験!
高校生や大学生など、若い世代の
ボランティア・NPO活動への
参加促進を目指します!

ボランティア

昨年までの5年間で延べ4,336名の
ボランティアが参加、839か所で活動を
しました。
今年、2019年は何名のボランティアが
活動したのでしょうか?現在計中!
ナツボラに関するお問い合わせは
高知県ボランティア・NPOセンターまで。



ライネン(来年)は?

これからも様々な地域、様々な分野で
ナツボラの輪が広がるように、
2020年の夏休み期間中も実施予定!
身近なところでボランティア活動をし
てみませんか?

なぐ・つながる

東は室戸市から西は宿毛市まで県内各地域で実施。
子どもや高齢者と関わる活動、自然体験イベントの
サポートなど、さまざまなボランティア活動を通
じて、人や地域とつながった43日間!



高知南高等学校



とっても明るく
ボランティアさんともすぐに
打ち解けていました!

3年生
細川 風輝さん

Q ナツボラ記者を選んだ理由は??

私が志望している大学は、自分で調査・研究をしていくことがメインの大学です。こういう将来のためになることをボランティアでしてみたいと思ったのがきっかけです。

Q 取材をしてみたの感想は??

話を聞くことは難しいこともあるけど、質問の項目と自分の聞きたいことをおろまぜながら工夫していくことで、話を引き出しやすくなったと思いました!

NPO U-30 特別編

ナツボラ記者が行く!

ナツボラ記者って?

高校生や大学生に広がりつつあるナツボラ。ボランティアの現場で輝く学生の姿を取材するのが“ナツボラ記者”です。
実際に取材した内容を記事にして、今回のてをつなGoやナツボラブログに掲載しました!! 高知県内様々な場所で活躍してくれた5人のナツボラ記者を紹介します。

ナツボラブログ <http://blog.canpan.info/natsubora/>

土佐高等学校



人と関わるのが好き!
物怖じしない行動派です。

2年生
武内 結生さん

Q ナツボラ記者を選んだ理由は??

募集を見て、これなら自分でもできると思い応募しました。ナツボラ記者という立場でボランティアの活動を間近で見られるというのも魅力でした。

Q 取材をしてみたの感想は??

実際に現場に行くことで施設の温かい雰囲気を感じることができました。また、インタビューでは、話を引き出すのが難しさを知ることができました。

高知大学



中学・高校とテニス部!
活発な学生さんです。

地域協働学部 2年生
竹田 彩乃さん

Q ナツボラ記者を選んだ理由は??

今までは、体験して感じたことや学んだことを自分の中だけで振り返って終わりだったけど、周りの人に発信してみたいと思うようになったからです。

Q 取材をしてみたの感想は??

同じボランティアに参加していても、きっかけや感じ方はそれぞれ違っていてもよかったです。普段話さない年代の人達の話も聞けて新鮮でした!

高知商業高等学校



考えるチカラをつけるために、今は知識を貯める時期。年間読書は3,000冊!

2年生
上田 蓮さん

Q ナツボラ記者を選んだ理由は??

ナツボラでは初めて見る募集だったので、すぐに申し込みました。人数限定だったこともあり、自分だけの体験ができると思ったからです。

Q 取材をしてみたの感想は??

ボランティアを違う視点からみることができました。また、取材先の地域に寄り添った活動を知ることができて良かったです。

中村高等学校



後日、取材先にボランティアに行く積極性!!

1年生
松本 桂奈さん

Q ナツボラ記者を選んだ理由は??

以前からナツボラのことは知っていて、今回記者の活動があると知って魅力的で貴重な機会だと思って申し込みました。

Q 取材をしてみたの感想は??

大変なこともありましたが、立ち上げた理由や経営の仕方、そして今悩んでいる後継者の問題など、学校では学べないことをたくさん知ることができ、自分の将来を考える上で参考になることばかりでした。ほかの人にも是非ボランティアに参加してほしいと思います。

仁淀川国際水切り大会2019

NPO法人 仁淀川お宝探偵団



当日は受付や給水の補助、選手の呼び出しまで多岐にわたる内容で高校生ボランティアが大活躍! 運営スタッフも「高校生が来てくれて本当に助かっている」とおっしゃっていました。

水切り好きなら年齢・国籍不問の仁淀川国際水切り大会。大人も子どもも本気で遊んでいます!! 今年は35名のボランティアが参加し、大会をサポートしました。



ナツボラ記者Report
竹田彩乃

たくさんの人と触れ合いたいという思いでこのボランティアに参加したそうです。様々な年代の人と関わったことをきっかけに、何事も積極的に行動していきたいと思うようになったとのこと。もっと多くの人にボランティアを体験してほしい! という思いを聞かせてくれました。



子どもたちといっしょに 絵本にふれてみませんか! のいち子ども図書館クラブ



ちょっぴりこわ〜いお話を、可愛いお化けに扮したボランティア達が読み聞かせ。臨場感のある語り口で、参加した親子は絵本の世界に惹き込まれていました。

ナツボラ記者Report 上田 蓮



ほとんどぶっつけ本番でしたが、みんなが真剣に聞いてくれたのでやりやすかったと話してくれました。読んでいくうちに「読む」から「伝える」を意識するようになったと語ってくれました! また、子どもたちがたくさんの絵本を選んでくれて、色々な本と触れ合う貴重な体験にもなりました。

小学生としゅわしゅわ体験 ~バスボム作り~

社会福祉法人 須崎市社会福祉協議会
まちなかサロン8店会



この日は小学生向けのイベントで、アロマオイルを使ったバスボムとニオイけしづくり。終始にぎやかで、たくさんの笑い声とアロマのいい香りに包まれました!!

「あつたかふれあいセンター」は今年で10年目になり、月曜～金曜はいつでも開いている「地域の憩いの場」として年齢関係なく使用できます!



ナツボラ記者Report 細川風輝

子どもが大好きでこのイベントに興味を持ちナツボラへの参加を決めた3人。思っていたよりもいろんな話が出てきて改めて子どもとふれあうのは楽しいと実感できたそうです。

笑顔を見るのはとても嬉しいしやりがいがある、1回でもボランティアを経験すると何回も積極的に参加したくなったと聞いて私も嬉しく感じました!

クラブ活動など日頃の成果を 発表しませんか?

社会福祉法人 山寿会 (デイサービスセンターゆづき)



中学1年生の男の子が得意の歌とバイオリンを披露してくれました。

美しい音色と歌声に感極まって涙ぐむ利用者の方も。「上手」「えい声しゅう」「また来てね」と大好評! アンコールが鳴り止みませんでした。



ナツボラ記者Report
武内結生

好きな音楽が活かせると思い参加したそうです。祖父母が遠くに住んでいるので、高齢者と触れ合うことができると嬉しかったと答えてくれました。

人の気持ちに応えるのは大変だけど、たくさんリクエストももらえて楽しく歌えたと初々しい笑顔を見せてくれました!

幻のもち米アラキモチを 一緒に栽培しませんか! アラキモチを再生する会



香りが強いアラキモチをイノシシから守るため、電気柵を張るお手伝いをしました。慣れない農作業に最初は苦戦していましたが、徐々にコツをつかんで無事終了! 気持ちのいい汗をかきました。



ナツボラ記者Report
細川風輝

将来の進路を考えてこの活動に参加したそうです。実際に作業してみるとその大変さがよく分かり、将来に活かすことが出来る経験が出来て良かったと素晴らしい感想を頂きました!

また、自然の風景がきれいで、メンバーの方々がとても優しく感じたそうです。

皆と一緒に夏休み!! ~子ども食堂smile~ ケアラーズカフェ smile

子どもも大人も、誰でも参加できる食堂が夏休みに1日だけオープンしました! この日のメニューはカレーライスと野菜サラダ。玉ねぎの皮をむいたり、炒めたりと調理や配膳のお手伝いをしました。子どもたちも自分で作った料理に「美味しい!」と満足そうな笑顔を見せていました!



ナツボラ記者Report 松本桂奈

今回初めてナツボラに参加したそうです。ボランティアは大変そうだと思っていたけど、子どもたちとご飯を食べたり遊んだりすることが楽しくて、大変なことは何もなかった! と答えてくれました。今度は子ども食堂の料理の方もやってみたい。子どもとふれあうのが好きな人にはぜひ参加してほしいとのことでした。